

2009DUOリーグ通信 No.10 (後期 No.1)

夏の大会が終わったと思ったら一気に涼しくなり、DUO リーグ後期開幕の季節を迎えました。
後期リーグ関係の資料を添付します。以下の「開幕挨拶」とともにご確認ください。DUO リーグ全体のレベルアップ（競技力と運営能力）に、皆が真剣に取り組んでいきましょう！

DUOリーグのレベルは？

DUO リーグ2部(24/24)、DUO リーグ1部(8/8)、Eリーグ(2/8)、地区トップリーグ(0/16)

カッコ内の数字は、(DUO クラブのチーム数/各リーグのチーム数)です。DUO リーグの1部と2部がすべてDUO クラブなのは当然ですが、その上位にあたるEリーグでは8チーム中6チームをリバーサイドリーグに持って行かれ、さらにその上位である地区トップリーグは、運営委員長をDUO リーグ代表の玉生謙介氏(学習院)が務めるにもかかわらず、2008年度の発足以来、これまでチームを送り込んだことがありません。

もっと上のレベルをみてみましょう。高円宮杯全日本ユース(U-18)選手権大会につながるユース年代のトップリーグは、全国9地域ごとに組織されるプリンスリーグです。DUOの仲間である三菱養和がプリンスリーグ関東1部で準優勝し、永井雄一郎選手(現清水)を擁して以来の高円宮杯出場を決めたのは大変うれしいニュースです。しかしながら、プリンスリーグの下位となるTリーグには、T1がゼロ、T2に本郷と足立学園がいますが、T3もゼロ。公認リーグにほとんどチームを送り込めていないのが、DUOリーグの現状です。

負ければ終わりのノックアウト方式の競技会(カップ戦)には“Giant-Killing”(大物食い)の面白さがあります。しかし真のチャンピオンとして尊敬されるのは、カップ戦の覇者ではなく、リーグチャンピオンです。シーズンを通して高い競技力を維持できたことが評価されるのですが、競技力の背後には生活全般の充実があり、それはクラブカそのものであると言えるでしょう。こう考えたとき、DUOクラブが上位リーグに食い込めない現状は深刻です。「何かを変える」必要があります。

各クラブはまず、リーグ戦に臨む姿勢を見直してください。“遊び心”が基本ですが、「徹底して遊ぶ」ことが果たしてできているでしょうか。前期リーグでは、「この試合に勝てば優勝」ということを当該チームが知らないまま最終戦に臨み、相手チームからそのことを知らされるという“事件”がありました。一つひとつのゲームの意味・意義をしっかりと認識した上で、徹底的に遊ぼう(Play)ではありませんか。「試合をこなすだけ」ではリーグ戦とは言えません。

DUOリーガー諸君は、試合に臨む準備段階、すなわち日々のトレーニングと、栄養・休養を含めた生活全般を見直してください。週末のリーグ戦によってM-T-M(Match-Training-Match)のサイクルが確立します。このサイクルに乗せて、「歯磨き感覚」で勉強やサッカーに取り組み、「引退なし」で続けていく意識づくりと習慣化がリーグシステムのねらいです。レベルアップはその中で為されるのです。

リーグ全体で取り組む事業としては、「DUOリーグ選抜」の活性化が挙げられます。レベルアップのためには、自分のクラブ内だけでなく、他クラブとの交流が不可欠です。かつてDUOリーグ選抜の活動はもっと盛んに行われ、副産物としてDUOリーグ経験者による「FC DUO」構想もありました。このような活動が停滞して数年たちますが、今期ようやく復活し、後期リーグ期間中に毎月、DUOリーグ選抜の活動が予定されています。積極的に参加し、DUO仲間の輪を広げてください。

今年のスローガンは「自分のことは自分でしよう！」です。レベルアップについても、個人、チームやクラブ、そしてリーグ全体と、それぞれの段階でできることがあるはずです。新しく加わった都立荒川商業高校も含め、27クラブが力を合わせて、DUOリーグのレベルアップに努めましょう！

2009(平成21)年8月

DUOリーグ・チェアマン 中塚義実

試合結果（～8月30日）

◆DUO リーグ

☆8月30日（日）＜筑波大学附属高校G＞

1部リーグ 筑波大附 3－2（1-1,2-1） 学習院

9：30／田上規・筑附OB：5・5／吉田（筑波2年）・広瀬（学習院1年）

得点者…筑波大附：園田啓太、田中友樹(2)

学習院：藤井悠也(2)

警告…筑波大附：中島聡（去：無許可去）

＜都立文京高校G＞

2部U 都竹早 0－4（0-3,0-1） FC西巣鴨03

9：30／梶山嘉則・都文京教諭：5・5／小池・江並（都文京？年）

得点者…FC西巣鴨03：多田有佑(3)、三ツ矢道弘

◆E リーグ

☆8月27日（木）＜都立足立高校G＞

Eリーグ 修徳A 5－3（3-0,2-3） 都足立

13：00／安藤亮・都足立OB：5・5／中山（都足立？年）・石原（修徳？年）

得点者…修徳A：中村裕樹、久保一貴(3)、大塚健太

都足立：岩崎亮(3)

☆8月28日（金）＜都立足立高校G＞

Eリーグ 修徳B 4－3（2-1,2-2） 都足立

13：00／安藤亮・都足立OB：4・5／末原（都足立？年）・有村（修徳？年）

得点者…修徳B：末川大晃(2)、間島朋之、森竜哉

都足立：橋木陸人(2)、金澤孝宏

☆8月29日（土）＜都立足立高校G＞

Eリーグ 都城東 4－0（3-0,1-0） 都足立

13：00／安藤亮・都足立OB：4・5／稲垣（都足立？年）・多田（都城東？年）

得点者…都城東：富澤貴広(2)、大竹敦、清水隆生

注) 都足立のいきなりの3連戦については以下を参照ください。

E リーグにおける都立足立高校の「3連戦」について

後期リーグ開幕早々、都足立が「3連戦」という、リーグ戦としてはあり得ない状況で、試合結果だけがメーリングリストで届きました。Eリーグの出来事なので、玉生事業部長からEリーグ運営委員長宛にメールを送り、回答待ちの状況ですが、DUOリーグとしても何らかの対応をしていくつもりです。

そもそもリーグ戦に「連戦」という発想はあり得ません。M-T-Mのサイクルを形作り、生活のなかにサッカーを位置づけるのがリーグシステムのねらいです。「最低48時間は試合間隔をあけること」と言っていますが、本当は「週1試合」です。日程の都合上どうしてもない場合に限って認めることもあります。その場合も事業部長とチェアマンに相談するのは当然でしょう。

今後については、確認がとれ次第、通信にて掲載します。（中塚）

＜2009.8.29.付メーリングリストより：Eリーグの試合消化について＞

Eリーグ運営委員長 石塚様

Eリーグ関係者の皆様へ

足立高校よりEリーグの試合報告があり拝見いたしました。目を疑いました。こんな試合消化が

ありなんでしょうか。27日、28日、29日と三連戦です。

リーグも終盤になり、いろんな事情が重なり致し方ないということもあるでしょうが、まだ始まったばかりです。日程の組み方、またリーグ戦の考え方に問題があるのではないのでしょうか。

今後のリーグ戦文化発展に向けて、きちんと考えてもらいたい問題だと思いますので意見させてもらいます。どうぞご一考よろしくおねがいします。(玉生謙介：DUOリーグ事業部長)

DUOリーグ選抜交流会案内：9月10日（木）18：00～

8月29日にメーリングリストで回った、「DUOリーグ選抜」の意欲的な試みです。積極的にご参加いただき、レベルアップを図りましょう。

<2009.8.29付けメーリングリストより>

お世話になります。小石川高校の長山です。

DUO会議で日程を出させていただきました。DUO選抜ですが、9月の活動は9月3日の予定でしたが、グラウンド解放の関係で9月10日に変更させていただきたいと思っております。連絡が遅れ申し訳ありません。

DUOリーグ選抜交流会（第1回）

日時：9月10日（木） 18：00受付（18：15開始）

場所：都立小石川高校グラウンド

目的：DUOリーガー同士がサッカーを通して交流する

対象：各チーム高1・高2、3～4名ずつ参加させてください。交流目的ですので、できるだけたくさんチームから参加していただきたいと思っています。もちろん、文中選の中学生や西巣鴨の社会人の方々の参加も構いません。30分程度のアップ、トレーニング後、高1対高2で試合を回したいと考えております。

こういった活動を月に一度行っていきたくと思います。指導者の方々にも積極的に参加していただき、月に一度、学年、年齢関係なく楽しくサッカーできればと思います。

参加希望調査を行いたいと思っておりますので9月8日までに参加申し込み書をFAXしていただくか、直接長山のメールアドレスtakurou.com@hotmail.co.jpまたは、メーリングリストに学校名と参加生徒氏名を送信していただきたいと思っております。よろしくお願いたします。

担当 小石川高校（長山）

郁文館高校（井上）

各リーグの運営組織

後期の各リーグ役割分担が次のように報告されています。ご確認ください。

Eリーグ情報が未確認です。確認が取れ次第、通信に掲載します。

2009年度後期各リーグ役割分担

	1部リーグ	2部Dリーグ	2部Uリーグ	2部Oリーグ
責任者	江口(都豊島)	山中(巣鴨)	宮坂(駒込)	玉山(都江北)
副責任者	小金丸(京華)			
競技	井上(郁文館)	長山(都小石川)	蓑田(都竹早)	岩野(本郷)
審判	石原(淑徳巣鴨)			
記録	小島(豊島学院)	早川(豊島学院)	北爪(豊島学院)	亀井(日大豊山)
会計	都丸(本郷)		岸(FC西巣鴨)	梶山(都文京)

試合結果の報告と集計について

DUO リーグのホームページがリニューアルされ、速報が見られるようになりましたが、試合結果の報告と集計は、今シーズンについては昨シーズンまでと同じ手順を進めます。ホームページの更新作業は大阪の本多克己氏がやって下さりながら、更新作業の効率化をはかる為の方策を探ってくれることになっています。

以下は、これまでの方法です。改めてご確認ください。

1. 各試合終了後

1) 審判（主審）が記録用紙に必要事項を記入

両チームの監督のもとへ行き、得点者と審判評価を聞き、アドバイスを受ける

2) 審判手当の受領

審判担当クラブ代表者から、その場で1,500円（3名分）の審判手当を受け取る。受け取ったら、記録用紙の「審判手当受領サイン」の欄にサインする

3) 両チーム監督サイン

全て記入されている（審判手当でも受け取っている）ことを確認の上、両チーム監督がサイン

2. 各会場の全試合終了後

1) 会場責任者は、試合記録を保管（受領書にもなっているので、年度中は保管）

2) 会場責任者は、その日の試合結果をできるだけ速やかにMLに投稿。書式は次の通り

☆○月○日（曜日）<グラウンド名（主催クラブ名）>

リーグ名 チームA スコア(前後半) チームB (キックオフ時刻/主審氏名・所属:評価/副審名・所属)

得点者…チーム名:得点者氏名

警告・退場…チーム名:警告・退場者氏名(理由)

3. MLに投稿された試合結果の扱い

1) 事務局

HPに試合結果をアップ（ここを後期リーグは本多氏が担う）。

また「警告・退場リスト」「審判評価」を作成、必要に応じてMLで流す。

2) 集計担当（各リーグ）

自分の担当するリーグの「星取表」「順位表」「得点ランキング」を作成し、事務局長にEメールで送信する。

4. HPの更新とDUOリーグ通信

1) 試合結果の速報（事務局）

MLで試合結果が投稿され次第、PC版と携帯版ともにHPを更新（前記3-1）→本多氏）

2) 集計結果の更新（事務局）

各リーグの集計担当者から「星取表」「順位表」「得点ランキング」が送信された時点でHPを更新

3) DUOリーグ通信の発行（事務局orチェアマン）

・チェアマンからの情報提供・メッセージ等

・事業部門・管理部門・企画部門からの情報提供・メッセージ等

・各リーグからの情報提供・メッセージ等

これらを集めて、月2回ペースで事務局が各クラブ代表者に配信。関係機関等への配信はチェアマンより（送信してほしいところがあればチェアマンにご連絡ください）。

以上